

proceq

profometer®



Quick Start Guide
Kurzanleitung
Guide de Prise en Main
Guida Breve
Guía de Inicio Rápido
Guia de Início Rápido
Hızlı Başlangıç Kılavuzu
Краткое руководство
クイックスタートガイド
快速入门指南
빠른 시작 안내서



Design Patent Pending

Swiss Precision since 1954



このクイックスタートガイドは、製品の取扱説明書に代わるものではありません。詳細な説明および安全な使用方法に関する情報については、以下の方法で**取扱説明書**を参照してください。

タッチスクリーンユニット



DVD

製品に付属

ProceqのWeb サイト

www.proceq.com → Downloads

測定画面およびプローブのコントロール (2ページ参照)

Profometerタッチスクリーンユニット

- | | |
|-----------|-----------|
| ① ファイル名 | Ⓐ USBホスト |
| ② 測定モード | Ⓑ USBデバイス |
| ③ 現在時刻 | Ⓒ イーサネット |
| ④ 設定の表示 | Ⓓ 給電 |
| ⑤ 設定 | Ⓔ 電源オン/オフ |
| ⑥ 鉄筋径 | Ⓕ ソフトキー |
| ⑦ 開始/保存 | Ⓖ 戻るボタン |
| ⑧ クリア/再起動 | |

Profometerユニバーサルプローブ

- ⑫ 開始/停止 (長押し: マーカーを設定)
- ⑬ 径を測定 (長押し: ゼロ調整)
- ⑭ 測定中心 (標準、ラージまたはオート)
- ⑮ 測定中心 (スポット)
- ⑯ 中心線
- ⑰ 矢印LED

1 はじめに

バッテリーの装着

バッテリーを装着するには、保護フィルムを取り外し、画像に示すようにスタンドを持ち上げます。 所定の位置にバッテリーを入れてネジで留めます。



バッテリーの充電

使用前にバッテリーを8時間充電する必要があります。クイック充電器を使用することができます (満充電まで5.5時間以内)。

プローブの接続

プローブケーブルで、Profometerタッチスクリーンユニットの上側のソケットのどれかにユニバーサルプローブを接続します。



測定器の起動

「電源オン/オフ」を押して電源を入れます。



起動時にメインメニューが表示されます。機能はすべてタッチスクリーンから直接アクセスできます。



2 設定

すべての測定は「探索モード」で開始し、コンクリート構造上の鉄筋の配列の位置を特定するため、以下の設定では、探索モードのみについて説明します。その他のモードでのその後の測定については、取扱説明書を参照してください。

「設定」をタップし、「範囲選択」「オート」を選択し、第1層の「鉄筋径」を挿入します。不明の場合、16mm (#5) に設定します。「単位」で単位を選択します。メインメニューに戻り、「測定」をタップします。

注: 設定値は測定前に毎回確認してください。

3 測定

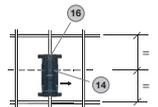
測定器の電源を入れた後最初に「測定」を選択した場合、プローブをゼロ調整する必要があります。「Start zeroing probe (プローブゼロ調整の開始)」メッセージが画面に自動的に表示されるので、「OK」を押して続行します。

かぶり厚さと鉄筋径の測定

注: 指輪や時計など金属の物体は測定開始前に体外から外しておいてください。

「探索モード」を選択します。

スキャンする鉄筋の想定方向に平行に中心線 (CL) ⑯を合わせ、プローブカート置きます。中心線が鉄筋の真上にある場合 (測定中心の赤いLEDが点灯します ⑭)、短く押す ⑬か、タップ ⑮して径を測定することができます。



コーナーでの測定

コーナーやスペースが限定されている場所での測定には、統合型スポットプローブを使用します。

カートからプローブを取り外し、コーナーでの測定に使用します。



データの保存/レビュー

☑️ をタップすると径とかぶり厚さの測定値が保存され、☑️ で確認されます。保存された読み取り値は、スナップショットまたは通常の統計ビューで表示することができます。

保存されたデータを表示するには、「戻るボタン」を押してメインメニューに戻り、「エクスプローラ」をタップします。

Profometer PM-6測定モード

	探索モード	シングルラインモード	マルチライオンモード	エアアスキャンモード	クロスライン
PM-600:	●				
PM-630:	●	●	●	●	
PM-650:	●	●	●	●	●